

ボランティア参加の てびき



国立大学法人 電気通信大学

社会連携センター発行

ボランティア参加の手引き

目次

1. はじめに
2. ボランティアとは
3. ボランティア活動参加の流れ
4. ボランティア活動保険について
5. ボランティア活動時のマナー
6. 学習支援ボランティア参加時の注意事項
7. ボランティア参加者の声

1. はじめに

活動範囲の広がる学生時代に、ボランティア活動をしてみませんか？あなたの趣味や特技、興味のあること、大学で学んでいることが地域やコミュニティの力になります。また、大学とは異なる場所での社会体験は、将来大きな財産となります。社会連携センターでは、地方公共団体や教育機関などからの依頼を中心に、大学へ寄せられた様々なボランティア募集情報を提供しています。

この手引きを参考にしながら、参加する方にとっても、活動先の団体にとっても有意義なボランティア活動を行ってくださるようお願い致します。

2. ボランティアとは

ボランティアとは、特別なことではありません。身近なことや自分の趣味を生かしてできることもたくさんあります。ラテン語で「自由意志」を意味する「ボランタール」が語源とされている「ボランティア」は、英語では「自発的に申し出る（→そこから転じて「志願兵」という意味もありますが）」、フランス語では「喜びの精神」とも訳されています。従って、ボランティアとは無理のない範囲で、自ら進んで行動することが最も大切なのです。

ボランティア 4 原則

- ・ 自主性、自発性：周囲から強制されるのではなく、自らの考えや意志で積極的に行うこと。
- ・ 社会性、連帯性：誰もが幸せに暮らせるよう、皆で協力し合い、学びあうこと。
- ・ 無償性、無給性：お金を求める活動ではなく、お金では得られない出会いや発見、感動や喜びをえること。
- ・ 先駆性、開拓性：今、社会で求められていることを考えながら、より良い社会を自分たちの手で作ること。

現在は、各分野の専門家が職業上持っている知識・スキルや経験を活かして社会貢献する「プロボノ」と呼ばれるボランティア活動もあります。みなさんがこれから学業や社会で身に着ける知識や技術も社会へ還元していくことができます。学生時代にその一歩を踏み出してみましよう！

3. ボランティア活動参加の流れ

「ボランティア活動に参加したい」と思った方は、下記の流れで参加しましょう。活動後は、社会連携センターのホームページから活動報告の提出もお願い致します。

STEP1 活動登録・情報収集	社会連携センターのホームページに掲載されているボランティア情報、ボランティア団体の情報から興味のあるものを探してみましょう！ ボランティア活動登録（Web から登録可能です）をすれば、最新情報をメールで受け取ることが出来ます。 URL : http://www.ccr.uec.ac.jp/volunteer/tos.html 社会連携センター Tel : 042-443-5880 Email : office@ccr.uec.ac.jp
STEP2 申込み	参加したい活動が見つかったら、各ボランティア団体へ直接申込みをして下さい。実際の活動内容など不明点がある場合はこの時に確認しておきましょう。 参加する活動が決まった場合は、社会連携センターへ報告して下さい。 活動によっては事前に説明会やガイダンスが行われる場合があります。必ず参加するようにしてください。
STEP3 活動開始	いよいよ活動開始です！本手引きにも記載されている「挨拶をする」、「時間・約束事の厳守」、「自ら主体的に動いて精一杯活動する」、などボランティアをする上でのマナーを守りましょう。 活動中に問題が発生した場合、体調を崩した場合などは速やかにボランティア活動先及び社会連携センターへ伝えて下さい。
STEP4 活動終了・報告	ボランティア活動お疲れ様でした！参加した活動はいかがでしたか？活動が終了したらボランティア活動報告をしてください（Web から報告できます）。 URL : http://www.ccr.uec.ac.jp/forms/volunteer_report/index.php この体験談が次にボランティア活動をする方への貴重な情報となります。

4. ボランティア活動保険について

ボランティア活動に参加の際は、活動中の万一の事故に備え、ボランティア保険への加入を推奨しています。

大学での加入手続きは出来ませんが、調布市を始め都内のほとんどの市区町村に窓口があります。ボランティア活動を始める際には、参加団体に加入の要否を確認の上、ぜひご検討下さい。

また、ボランティア保険は **1年ごとの更新**となっています。有効期限に留意し、保険期間の切れることのないようご注意ください。

ボランティア保険の詳細は、東京都社会福祉協議会 HP (<http://www.tcsw.tvac.or.jp/activity/hoken.html>) ※「ボランティア・行事保険」を参照下さい。

平成 30 年度の保険料は、基本コースで 300 円～700 円、天災によるケガも補償対象となる天災コースで 600 円～1400 円となっています。

5. ボランティア活動時のマナー

ボランティア活動は、自主性に基づいて行う活動ですが、最低限のマナーももちろんあります。活動に参加する前に必ず確認し、気持ちよく活動に参加できるようにしましょう。

1. 約束は守り、責任はきちんと持つこと

ボランティアだからといって、約束事を簡単に考えてはいけません。一度した約束は必ず守り、万が一都合が悪くなった場合は事前に先方へ連絡し、了承を得ましょう。

2. 守秘義務

活動上知りえたプライバシーは、絶対に他人に漏らしてはいけません。

3. 相手の生活があつての活動であることを忘れない

福祉施設でのボランティア等、対人の活動である場合には相手のことを一番に考え、一方的なボランティア活動の押し売りはやめましょう。

4. 相手の立場に立った言葉づかい

相手に対する尊敬の念を忘れないでください。名前は原則的に苗字で呼ぶようにしましょう。

5. 活動先の負担となる行為は要求しない

ボランティアの基本原則は、4原則にもあるように自主性や無償性となっています。相手に何らかの負担になることはやめましょう。

6. 活動を決める際は、活動先と内容の確認をしっかりと

活動先と必ず活動内容を事前に確認し、十分に納得してから活動しましょう。無理だろうと思われる場合はきちんと断ることも必要です。また、活動先の団体についても十分に確認をしてから参加して下さい。

7. あいさつは元気よく

活動先では、あいさつは笑顔ではっきりと行いましょう。活動先の方と早く和むことがスムーズなボランティア活動につながります。

8. 気負わず、無理せず、自然に、楽しく活動を

無理な活動や、活動のために私生活のリズムを崩しては、良い結果は得られず長続きしません。無理せず楽しく続けましょう。

9. 相手から学ばせて頂く姿勢を大切に

ボランティア活動は、相手からかけがえのない喜びや感動を得ることが出来ます。傲慢な考え方や態度で接することはもっての外です。

6. 学習支援ボランティア参加時の注意事項

学校でのボランティアは、児童・生徒と触れ合うことが多いので通常にもましてコミュニケーション能力が必要となります。担当の先生方と十分にやりとりをして、アシスタントとしての役割を果たしていきましょう。学校での活動時に留意すべき点を以下に記載しますので、よく読んでから活動に参加してください。

学校に対して

- 学校の方針や、学校内のルールを遵守しましょう（学校へ行く際の名札着用等、事前によく確認して下さい）。
- ボランティアは学校の教育活動を支援するのがその役割です。学校や先生方の希望、要望をよく聞き、共に活動して下さい。事前に先生方がどのような補助を必要としているのかを確認しておくことも重要です。
- 先生方との連絡は放課後が比較的取りやすいですが、FAX や e メールなど負担の少ない形がよいでしょう。

児童・生徒に対して

- 児童・生徒にはわかりやすく話しましょう。
→特に、小学校では低・中・高学年の各年齢に応じた言葉を使い分けましょう。
- 児童・生徒には公平な態度で接しましょう。
→知っている児童・生徒がいても公平に接してください。
- 子どもとともに学ぶことを念頭に置いてください。
→結果が分かっても、一緒に喜んだり驚いたりする姿勢が重要です。
- 児童・生徒、一人ひとりの人格を尊重し、よいところを「ほめる」姿勢を持ちましょう。
→一方的な教え方は、今の児童・生徒には通用しません。相手との会話を重視してください。
- 児童・生徒が求めている話は何かを、きちんと理解した上で内容を決めましょう。

その他

- 学校内で知りえた個人情報等は、決して口外してはいけません。
- 学校は授業時間や休み時間がきちんと決められています。与えられた時間を超過しないようにしましょう。
- 学校は、安心安全を重要と考えています。訪問する際は、事前に訪問の約束を取ってから行って下さい。
- 政治・宗教の話は、中立の立場を守って下さい。
- 体罰は厳禁です。子どもに問題行動があった場合は、必ず行員に連絡して下さい。
- 言葉遣いに注意して下さい。子どもへの話し方は、大人同士の話し方とは違います。子どもにふさわしくない話題は持ち出さないで下さい。また、子どもを傷つけるような発言、内容にも十分注意が必要です。

7. ボランティア参加者の声

これまでボランティア活動に参加した学生の報告より、一部抜粋したものを記載します。

こども向けサマーキャンプボランティアに参加

→子供たちが、最初は出来なかったことが最後にはできるようになったことが嬉しく、自分自身になかったスキルを身に着けることもできました。また、キャンプ自体が楽しかったです。

高校での学習支援ボランティア（サポートティーチャー）

→毎回 10～20 人程度の生徒が自習に来ており、テスト前なので積極的に生徒の質問が飛ぶなど集中して勉強していた。3 年生はテスト勉強よりもセンター、2 次試験問題の質問が多く、中には電気通信大学を志望する生徒もいたので大学の雰囲気や就職状況も含めた指導を行うなど、とてもいい経験になった。

小学生向け理科体験学習の補助

→ボランティア・学生委員会を含めて約 20 名ほどで今回の活動を進めましたが、学生の力で企画運営を進める実行力と行動力にとっても刺激を受けました。体験学習当日は、全体で一つのチームとして動きやすかったし、「参加者を楽しませる」という目標が一人ひとりになり、私自身も参加した子どもたちと一緒に楽しむことができました。

小学生向け電子工作教室の企画、運営

→工作内容がはんだ付けを伴うものだったので、うまく行くか不安だったが、子どもたちが一生懸命作業に取り組んでいる姿を見てえらいなと思った。また、この体験を通して工学に興味を持ってくれた子もいたようであった。実習中にいくつかトラブルがあったため、事前にもっと準備を行っておくべきだった。

特別支援学級に在籍する小中学生が参加するイベントの補助

→活動中に電車での移動もありましたが、何事もなく往復することができました。様々な世代のボランティアと接することができ、初めてでも馴染みやすかったのが良かったです。

目的

登録した学生の皆さんには、以下のサポートをすることを目的とします。

- ・ボランティア活動(地域貢献活動)募集に関する情報を提供します。
- ・ボランティア活動に関する相談に応じます。
- ・提出していただいた活動報告は、学生表彰のための参考資料として使用します
- ・その他、ボランティア活動を支援する各種のサービスを提供します。

活動について

1. 登録可能期間は在学期間とします(在学期間終了後ないし卒業後は登録を削除します)。
2. 在学中は、登録者から削除の申し出がない限り、登録を継続します。
3. 登録されたデータの訂正、削除は当センター事務所への申し出により、随時対応します。
4. 個々のボランティア活動は、原則として登録者の自己責任のもとに行ってください(相手との交渉も含みませぬ)。
5. 活動終了後は、活動概要に関する報告書を当センターに提出してください。

登録データについて

1. 登録いただいた各種データは当該地域貢献活動の目的以外に利用いたしません。
2. 登録いただいた各種データは当センター以外の第三者に預託・提供いたしません。
3. 当センターはお預かりした個人情報を保護するために、合理的な安全対策を講じます。
4. 継続して保管する必要がなくなった個人情報消去いたします。
5. 当センターが管理する個人情報について、本人から開示要請を受けた場合には必要な対応を致します。